

# せんだんの子



学校教育目標  
「体を強く 心賢しく 学び合う  
せんだんの子」の育成

令和6年12月6日 校長 廣瀧 由紀子

## 2024年 残り少なくなりました。

12月(師走)となりました。早いもので2024年も残りひと月足らずです。2学期もあと少しです。

子どもたちは、相変わらず元気いっぱい過ごしていますが、インフルエンザが流行りつつあります。

うがい・手洗いでしっかりと予防をしたいものです。早寝早起き朝ごはん、健康管理もしっかりとお願いいたします。体調不良(発熱)の場合は、早めの受診をお勧めします。

## 「本物」に触れる。「本物」から学ぶ。

11月26日(火)、文化庁事業公演による「沖縄歌舞劇団 美ら」による芸術鑑賞会を3年生以上の学校行事(鑑賞会)として行いました。

心地よい沖縄音楽と舞踊で、沖縄にいる気分になりました。本物に触れることは、とても大切だと改めて感じたところです。子どもたちの心も癒され、そしてまた「ちむどんどん」した様子が見られました。

5年生が劇団の方と一緒にエイサーを踊る企画もありました。出演した5年生の子どもたちは事前練習で教えてもらったエイサーと一緒に踊り、素晴らしい演技を披露してくれました。

伝統芸能には、地域の歴史や文化、そして人々の想いが受け継がれているということを学ぶ素敵な時間となりました。



## 「しあわせのバケツ」をいっぱい!

12月10日は、世界人権デーです。この日の前後に毎年、人権集会を行っています。

今年は、11月28日(木)低・中・高の学年グループ別で人権集会を行いました。それぞれのクラスで作った人権標語を発表したり、係の先生からのお話を聞いたり、フェリーチェさんの読み語りや歌を聞いたり心温まる時間を過ごすことができました。

学年に応じて、「人権」とは何か?を考えるきっかけとなったと感じています。学校でみんなが安心して過ごすためには、どんなことが大切なのか?一人一人の個性を大切にすることでどうということ?世界の人々が平和に過ごせるように何ができるのか?というようなことを考える絵本やお話でした。『しあわせのバケツ』のお話にあったように、しあわせな気持ちがみんなの心のバケツいっぱい溜められるといいですね。

みんなが安心して、のびのびと過ごせるような神埼小学校にするために子どもたちとともにがんばっていきたくて心から思いました。



また、今年も昨年度に引き続き「なかよし積み木」を実施しています。クラスの友達「よさ」を見つけて、カードに書いて掲示する活動です。それぞれのクラスでどんどん積み木が積みあがっていくのを見るととてもうれしい気持ちになります。

「〇〇さん、いつもやさしいね」「〇〇さん、係のお仕事手伝ってくれてありがとう」「〇〇さん、あいさつじょうずだね」などなど。カードを書いてもらった人はもちろん、それを読む人にもぽかぽかとした温かさを届けてくれている「なかよし積み木」です。